

富士川土手(右岸)の岩淵水門を知っていますか?



富士市教育委員会発行の「富士市の文化財」に近代遺産として紹介されています。明治22年に岩淵村、木島村、中之郷村が合併して、富士川村が誕生しました。その後急速にまちが発展し明治34年に町制が施行されます。村から町へ、その勢いは江戸時代から続く富士川の舟運と、明治の近代化の象徴の1つ東海道線とが岩淵駅で結ばれたことによりです。川から船に荷を載せたまま駅に運べるよう運河が設けられ、富士川の土手にはトンネルがつけられました。それが岩淵水門です。レンガ造りで明治の雰囲気を感じて今に伝えてくれています。ここから仰ぎ見る富士山の姿は「秀麗」というのがふさわしいと納得させてくれる見事なものです。JR富士川駅から徒歩約10分です。

特集

2月定例会

常任委員会の審査

代表質問・一般質問

特別委員会の中間報告等

議会広報委員のページ

議会にひと言

今こそ行政と民間はしっかりと団結して、ともにまちづくりをしていくことが求められています。議員も私たちもよりよいまちづくりをしていきたいという強い思いは同じです。このまちのために、活発な意見交換を本気で行っていききたいと思えます。明るく未来に挑戦していきましょう。



近ごろ、民間の発想での行政への提言をよく耳にします。議員の皆さんは、このまちに住む市民全てによりよい環境を整備するため、私たちの提言にもしっかりと耳を傾けてほしいと思います。

今回は、日ごろから社会貢献活動をされている、富士青年会 議所の岩間優理事長にインタビューを行い、貴重な御意見を伺いました。
(インタビュー：下田良秀)

議会 vol.4 ヒストリー

平成の富士市に歴史を刻んだ富士常葉大学



昭和から平成に変わった30年前の平成元年にタイムスリップし、市の取り組みを見てみましょう。

当時、富士市議会には大学設置促進特別委員会が設けられ、大学を富士市に誘致するための協議が進んでいました。そして、平成2年に常葉学園富士短期大学が開学、平成12年に4年制大学に移行しました。総合経営学部、環境防災学部、保育学部が設置され、市内外はもとより海外からも学生たちが集う学びの場となりました。

しかし、残念ながら平成30年3月に廃止となり、4月にキャンパスは閉鎖されました。

常葉大学富士キャンパス跡地は、今後はスポーツ交流の拠点となる施設が開業予定です。市では常葉大学跡地一帯を「スポーツウェルネス交流ゾーン」に位置づけています。今後の展開に注目していきましょう。(担当：山下いづみ)

編集後記

議会だよりは、市民の皆様がに、議会について知っていただき、御理解いただくための貴重なツールだと考えています。より見やすく、わかりやすい議会だよりの作成を目指し、今後とも努力してまいりますので、何とぞよろしくお願ひいたします。
(佐野智昭)



次回定例会予告

次回定例会は、6月中旬からの開催予定ですが、市議会議員選挙に伴い、5月21日に臨時会が開催される予定です。

発行
富士市議会
編集
議会広報委員会
静岡県富士市永田町1丁目100番地
☎0545(55)2878(直通)

ウェブサイト